

# 信仰と伝説

## に彩られた山里を歩く

一つ目小僧伝説



12月13日は山を降42里へ帰れ！  
ひないとオラが現れ  
つぎ。

コースあない

ふれあい館前駐車場～沓沢道祖神～ふれあい館前駐車場 距離6.34km / 移動時間127分

- ① ふれあい館前駐車場 1km 徒歩20分
- ② 芦安堰堤 0.16km 徒歩3分
- ③ 大宝寺・名取将監の墓 0.25km 徒歩5分
- ④ 諏訪神社 0.13km 徒歩3分
- ⑤ 妙定寺 0.75km 徒歩16分
- ⑥ 沓沢山の神・大梅 0.15km 徒歩3分
- ⑦ 沓沢道祖神 1.11km 徒歩24分
- ⑧ 大曾利道祖神 0.68km 徒歩12分
- ⑨ 不動明王石祠 0.12km 徒歩3分
- ⑩ 小曾利道祖神 0.1km 徒歩1分
- 六地藏 0.51km 徒歩10分
- ⑪ 光明寺 0.55km 徒歩12分
- ⑫ 伊豆神社跡・虎御前の鏡立て石 0.83km 徒歩15分
- ⑬ ふれあい館前駐車場

**白根御池の龍神**  
山奥の白根御池に住む龍神じゃ。昔は里人が雨をよこすために来たものよ。

**夜叉神伝説**  
昔は大雨を降らせ洪水を起こして村人を困らせてやっつたが、村人の願いを聞き入れ、今では村の守り神となったおい。夜叉神峠にはおしを祭ったほこらがあるぞ。

**信虎元家臣名取将監**  
ワシは名取将監。かつては武田信虎様に仕えた武士じゃ。今は大曾利の殿屋敷に住んで、狩りをしながら村人に学問を教えるのじゃ。

**光明寺京敬和尚の神通力**  
光明寺の京敬和尚じゃ。七くつした人の体を盗む火車って妖怪もおしの神通力にかかれば、イチコロじゃ。

**木曾の樵中村儀助**  
オラは木曾の木こりの頭領、中村儀助。江戸城修築の巨木を切り出す手助けに来たのじゃ。

**舟乗地蔵伝説**  
舟乗4地蔵と呼ばれておる。洪水から村を守っとるぞ。

**国母地蔵伝説**  
かつてこの地に祭られていた国母地蔵じゃ。洪水で下流の高砂に流されたのじゃ。後に甲府法城寺に祭られたのじゃ。湖だった盆地を平地にしたのはおののおかげじゃ。

**天狗伝説**  
山道に迷わんように。昔迷った少年にぶっつかしてやっつたがな！

**孝謙天皇と白鳳伝説**  
山白鳳、奈良田への道案内頼むぞよ。

**沓沢山の神・大梅**  
甲斐犬の五郎丸は。狩りが得意だわ。獲物は逃がさずら！

**ぼ鳴り石伝説**  
私がぶっつかすぞ。

**へび石伝説**  
昔大きな岩があつてな、おしらの住みかちょうどよかつたによ。

**黄金千両漆万杯伝説**  
昔々、村の長者が黄金と漆をたらに詰めて村のどこかに埋めたんぼつて。どこのかしら？探さずには今に伝わるこんな歌よ。「朝日さす 夕日かがやく木の下に黄金千両漆万杯」

**車地藏伝説**  
おしは車地藏。折れば雨を降らせるぞ。山仕事で大切な足腰も強くしてやろう！

**大石山の神・車地藏・白根御池大龍王天女**

南アルプス芦安山岳館  
9時～17時  
休館日毎週水曜日(夏季無休)  
TEL 055-288-2125



乗合タクシー発着所

金山沢温泉

御勅使川

沓沢橋

三段の滝

瀬戸千段の滝

瀧ノ川

450m先

### 2 芦安堰堤

あしやすんてい 国登録有形文化財

大正5(1916)～15年に内務省直轄砂防事業として御勅使川上流の芦倉に設置された砂防堰堤。最初は重力式と呼ばれる方法で造られたが、大正7年完成直後の大雨によって土砂で埋ったため、その上にアーチ式の砂防堰堤が造られた。日本で初めてコンクリートを使用して造られた本格的な堰堤で、国の登録有形文化財となっている。

使用されたセメントは東京から竜王駅までは中央線、竜王駅から源までは馬車、源から堰堤までは馬で運ばれた。

### 11 光明寺

こうみょうじ

曹洞宗の寺院。江戸城修理の木材を野呂川流域から伐り出すことを請け負い、その途中に命を落としたと伝えられる木曾大瀧村の庄屋、中村儀助の墓が境内にある。

### 12 伊豆神社跡

いずしんじあつと

曾我兄弟と同族であった伊東氏の子孫が伊豆権現を勧請したと伝えられ、ほかに曾我十郎と、虎御前が祭られたことから、三社神社とも呼ばれていた。大正時代に社殿が倒壊したため、御神体は諏訪神社に移され祭られている。

- 集落・平坦地
- 川
- 山地
- インフォメーション
- 石祠
- 道祖神
- お地藏さま
- 御正体
- 宝篋印塔(白鳳と笠摩利の墓)

### 3 大宝寺・名取将監の墓

だいほうじ なとりしょうげんのはか

寺記によれば、奈良時代に華嚴宗の寺院として開山されたがその後荒廃し、16世紀の初めに悦堂和尚が曹洞宗寺院として再興した。境内には武田信虎に仕えたと伝えられる武将、名取将監の墓がある。

名取将監は信虎の横暴な振る舞いを諫めたことから疎まれ、親類を頼りに芦倉に住んだといわれ、大曾利に多賀明神や天神、牛頭天王を勧請し、村人に学問を教えた芦安集落の英雄として伝えられてきた。大曾利の殿屋敷は将監の屋敷跡と伝えられる。夜叉神峠の西観音溪谷は将監が大鹿を追って道に迷った際に、観音経を唱えて一晩を無事過ごしたことに由来する。

(上) 名取将監の墓 (下) 大宝寺

### 4 諏訪神社

すわしんじや だいにちよらいざそう はくほうおうのはか

祭神は武勇・狩猟の神である建御名方命。伊豆神社に祭られていた曾我十郎祐成、虎御前と伝えられる木像も大正時代に合祀され、安置されている。境内にある2基の宝篋印塔は、奈良時代に孝謙天皇が奈良田へ湯治に訪れたという伝説の中で、天皇を案内した大宝寺の僧白鳳と彼の家臣笠摩利の墓と伝えられている。

本殿内には厨子入りの大日如来坐像(市指定文化財)も納められている。大日如来坐像は本来鏡に付けられていた御正体の一部で、鎌倉時代の作。山岳信仰で用いられた鏡と考えられている。

(上) 諏訪神社 (下) 白鳳の墓 (右) 大日如来坐像

### 6 沓沢山の神・大梅

くつさわやまのかみ おおつが

山への入口に立つ梅の巨木で市指定天然記念物。根元には4基の石祠が置かれている。年代は不詳だが、戦国時代に名取将監がこの山の神に狩りの成功を祈ったという伝承がある。

### 9 不動明王石祠

ふどうみょうおうさまし

小曾利公会堂裏に不動明王を祭った石祠がある。かつて寺の沢に祭られていたが、昭和34年の台風で流されてしまったため、昭和36年6月6日、現在の地に新たに建立された。無病息災や厄除けに豊饒があるといわれている。